

## はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和3年1月～3月期の業況実績と、令和3年4月～6月期の見通しについて、管内678先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

### ※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

## \*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 1. 概況                         | 1     |
| 2. 地区内の業況D.I. 推移              | 2     |
| 3. 一般業種の業況                    |       |
| (1) 製造業                       | 3     |
| (2) 卸売業                       | 4     |
| (3) 小売業                       | 5     |
| (4) サービス業                     | 6     |
| (5) 建設業                       | 7     |
| (6) 不動産業                      | 8     |
| 4. 地場産業の業況                    |       |
| (1) 能登地区の縫製業                  | 9     |
| (2) 能登地区の電子部品<br>・半導体製造業      | 10    |
| (3) 能登地区の漆器業                  | 11    |
| (4) 能登地区の木材業                  | 12    |
| (5) 能登地区の建具業                  | 13    |
| (6) 能登地区の織布業                  | 14    |
| (7) 能登地区の繊維・雑品業               | 15    |
| (8) 能登地区の観光業                  | 16    |
| 5. 経済指標                       | 17～18 |
| 6. 特別調査                       |       |
| 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について | 19    |

(注) 令和3年1月～3月を今期、令和2年10月～12月を前期、令和3年4月～6月を来期という、以下同じ。

### 調査対象企業の業種別先数および有効回答数

|         | 依頼先 | 有効回答数 | 回答率 (%) | 構成比 (%) |
|---------|-----|-------|---------|---------|
| 製 造 業   | 203 | 190   | 93.6    | 30.1    |
| 卸 売 業   | 29  | 28    | 96.6    | 4.4     |
| 小 売 業   | 200 | 188   | 94.0    | 29.8    |
| サービス業   | 120 | 114   | 94.2    | 18.1    |
| 建 設 業   | 97  | 86    | 88.7    | 13.6    |
| 不 動 産 業 | 29  | 25    | 86.2    | 4.0     |
| 合 計     | 678 | 631   | 92.9    | 100.0   |

## ◆◆◆ 概 況 ◆◆◆

《 2021 年 1 月～3 月》

令和 3 年 3 月より、コロナウイルスワクチンの接種が医療従事者を最優先として順次スタートした。全ての国民のワクチン接種が完了するまでの期間は未定で、必要とされる 2 回のワクチン接種の実施期間は、開始より 1 年間を予定している。一方、経済活動を止めるわけにはいかないとの見方から、令和 3 年 1 月に発出された緊急事態宣言は、コロナウイルスの沈静化を待つことなく令和 3 年 3 月 21 日をもって 1 都 3 県で解除された。それにより平日・週末問わず外出する人は増え、コロナウイルス感染者数も再び増加しており、第四波の発生が懸念されている。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和 3 年 1 月～3 月）業況 D.I. は、△35.2（前期△39.4）と前期比 4.2 ポイントの改善を示した。地区内全般では、製造業が改善、小売業は全体的に改善傾向を維持し、感染対策を講じてイベント等の開催を行ったサービス業、北陸新幹線関連工事等の動きがあった建設業は概ね改善、卸売業は取扱品により横這いと悪化が半々で、不動産業は調査時期の関係で人の移動による業況改善が反映されず、全くの横這いとなった。

地場産業では、縫製業は医療向け製品が堅調に推移して改善を維持。漆器業、木材業、繊維・雑品業も業況の改善がみられた。建具業は全くの横這い。織布業は前期好調であった車のタイミングベルトが、世界的な半導体不足から来た自動車の減産や生産調整の波を受けて受注減となり、全体としても業況は悪化。電子部品・半導体製造業は、自動車に使用されるハーネス等の部品が同じく減産・生産調整を受けて受注減により業況はやや悪化。観光業も前期より続く Go To キャンペーンの停止や外出自粛の影響を受け悪化している。

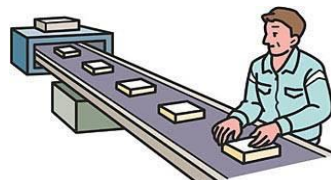
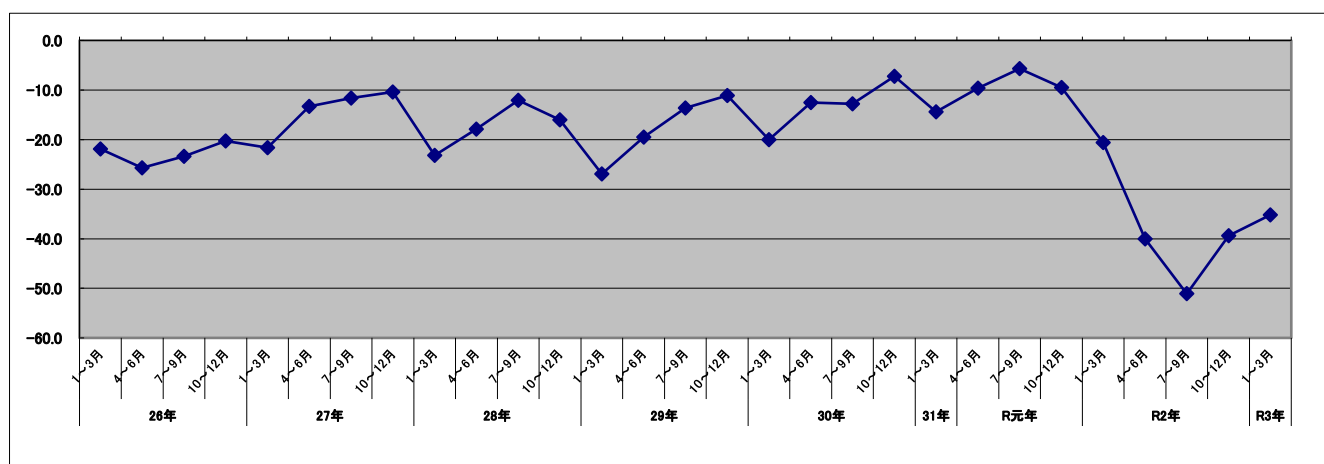
段々とコロナウイルスにどう対処すればよいのか、研究と理解が進んできたが、従来のものに比べて感染力が高い変異株が出てきており、英国変異株、南アフリカ変異株、ブラジル変異株などが世界中に広がっている。日本にも英国由来のものが入ってきている。フランス、ドイツ、イギリスの一部、オランダ等がロックダウンを実施しており、感染拡大の抑え込みをできるかが鍵となる。

日本では 3 月 26 日に 2021 年度予算が成立した。一般会計総額が 106 兆 6097 億円と過去最大で、新型コロナウイルスの感染拡大に機動的に対応するため、国会の承認を得ずに使い道を決められる予備費として 5 兆円を計上、新規国債の発行額は 7 年ぶりに 40 兆円を超えた。

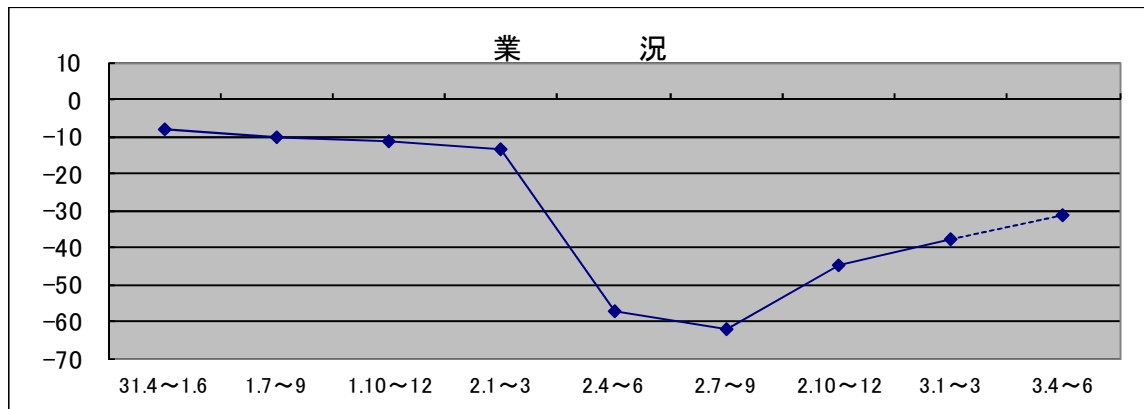
人の動きを止めるとウイルスの感染は抑制できるが、経済活動も落ちてしまう。企業の体力が限界に近づいている今、コロナウイルス感染者数の抑え込みと円滑な経済活動の循環と、相反するもののバランスを取らなければならない難しい舵取りが求められている。

## 地区内の業況D. I. 推移

| 年    | 期間     | 業況D. I. | 年    | 期間     | 業況D. I. |
|------|--------|---------|------|--------|---------|
| H26年 | 1～3月   | △ 21.9  | H30年 | 1～3月   | △ 20.0  |
|      | 4～6月   | △ 25.7  |      | 4～6月   | △ 12.5  |
|      | 7～9月   | △ 23.4  |      | 7～9月   | △ 12.8  |
|      | 10～12月 | △ 20.3  |      | 10～12月 | △ 7.2   |
| H27年 | 1～3月   | △ 21.6  | H31年 | 1～3月   | △ 14.4  |
|      | 4～6月   | △ 13.3  |      | 4～6月   | △ 9.6   |
|      | 7～9月   | △ 11.6  |      | 7～9月   | △ 5.7   |
|      | 10～12月 | △ 10.4  |      | 10～12月 | △ 9.5   |
| H28年 | 1～3月   | △ 23.2  | R2年  | 1～3月   | △ 20.6  |
|      | 4～6月   | △ 17.9  |      | 4～6月   | △ 40.0  |
|      | 7～9月   | △ 12.1  |      | 7～9月   | △ 51.1  |
|      | 10～12月 | △ 16.0  |      | 10～12月 | △ 39.4  |
| H29年 | 1～3月   | △ 26.9  | R3年  | 1～3月   | △ 35.2  |
|      | 4～6月   | △ 19.5  |      | 4～6月   |         |
|      | 7～9月   | △ 13.6  |      | 7～9月   |         |
|      | 10～12月 | △ 11.1  |      | 10～12月 |         |



## 製造業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）の業況D.I.は、前期比較で、△37.7（前期△44.8）と改善した。各項目については、売上・収益・在庫が悪化し、資金繰り・販売価格は改善した。業種ごとで見ると、繊維・雑品業、漆器業が改善し、他の業種は悪化した。全業種でコロナ禍以前と比べて受注は低調で、コロナ禍以前の水準まで改善するには期間を要する。

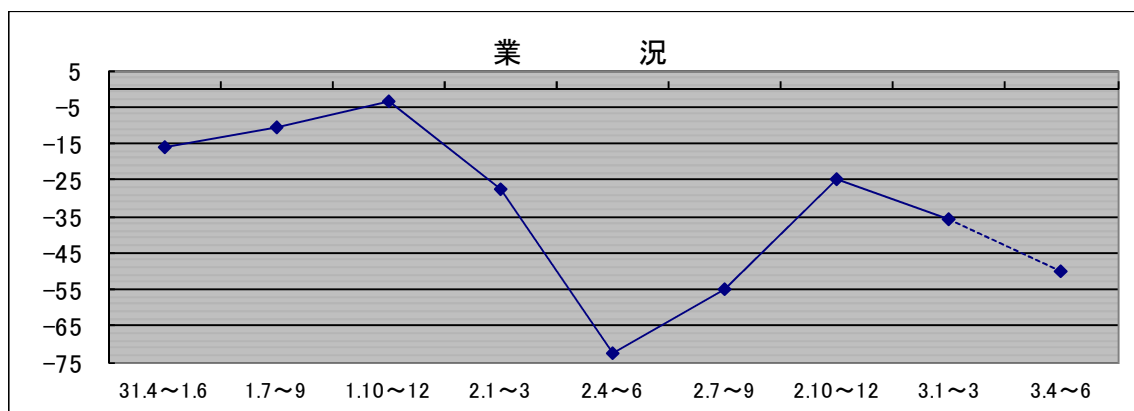
来期（R 3.4月～6月）業況D.I.は、△31.4と改善を予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △8.2        | △10.4 | △11.3  | △13.7 | △57.4 | △62.1 | △44.8  | △37.7 | △31.4 |
| 売 上  | △4.1        | △5.2  | △3.6   | △15.8 | △61.6 | △40.5 | △18.8  | △38.2 | △22.0 |
| 収 益  | △4.6        | △7.8  | △8.8   | △16.3 | △59.5 | △38.9 | △20.8  | △38.7 | △23.6 |
| 資金繰り | △2.0        | △9.8  | △11.3  | △8.4  | △37.4 | △19.5 | △14.6  | △13.6 | △9.4  |
| 販売価格 | △11.2       | △11.9 | △8.2   | △6.8  | △2.1  | 1.6   | △6.8   | △0.5  | △1.0  |
| 在 庫  | △6.6        | △6.2  | △5.2   | △3.7  | △5.3  | △4.7  | △2.1   | △3.7  | △5.2  |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 22.6% | 提携先を見つける         | 32.6% |
| 輸入製品との競争の激化 | 18.3% | 販路を広げる           | 19.3% |
| 同業者間の競争の激化  | 7.9%  | 経費を節減する          | 18.9% |

## 卸売業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）業況D.I.は、年末の消費増加の終了により△35.7と前期に比べ悪化した。

漁業と青果は売上・収益が横這い。木材は単価が上昇するも、売上数量・金額が減少。衣料品は個人消費の低下が続き、贈答品は売上・収益ともに減少しており厳しい状況。卸売業の約半数は横這いと減少の回答が半々であり、状況としては年末改善した業況が悪化した。前期に引き続き、同じ卸売業でも取扱商品によっては業況に差がある。資金繰りに関しては多くで厳しいとの回答が増え、大幅に悪化した。

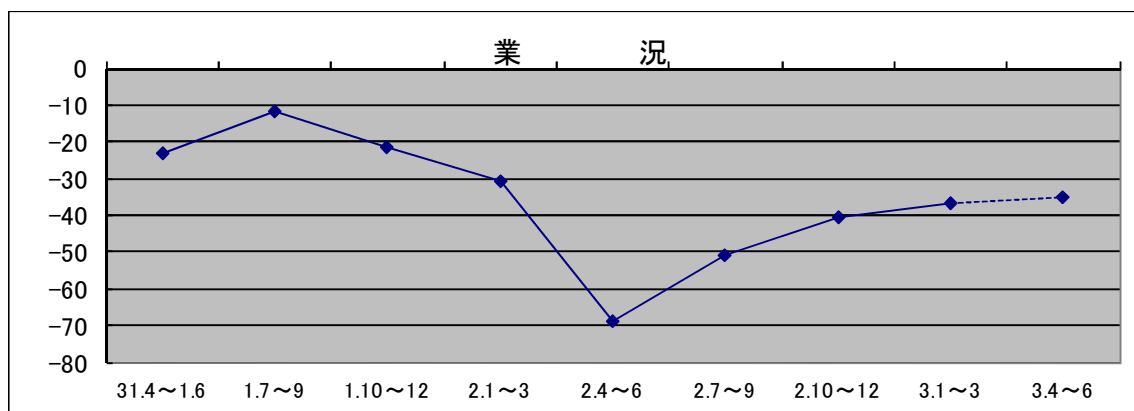
来期（R 3.4月～6月）業況D.I.は、△50.0と悪化を予想。売上・収益は改善するが、資金繰りは苦しい状況が続くと予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年   | 見通し    |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月   | 4～6月   |
| 業 況  | △16.1       | △10.7 | △3.4   | △27.6 | △72.4 | △55.2 | △25.0  | △35.7  | △50.0  |
| 売 上  | △12.9       | △21.4 | △3.4   | △27.6 | △65.5 | △51.7 | △17.9  | △53.6  | △46.4  |
| 収 益  | △19.4       | △17.9 | 0.0    | △27.6 | △65.5 | △48.3 | △14.3  | △32.1  | △25.0  |
| 資金繰り | △9.7        | △14.3 | △6.9   | △6.9  | △51.7 | △24.1 | △21.4  | △100.0 | △100.0 |
| 販売価格 | △3.2        | 0.0   | 3.4    | 6.9   | 0.0   | △3.4  | △21.4  | △14.3  | △17.9  |
| 在 庫  | △3.2        | 3.6   | 3.4    | 0.0   | △3.4  | △6.9  | △10.7  | △21.4  | △21.4  |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 大手企業との競争の激化 | 19.7% | 提携先を見つける         | 33.7% |
| 売上の停滞・減少    | 16.4% | 経費を削減する          | 20.9% |
| 輸入製品との競争の激化 | 13.1% | 販路を広げる           | 19.8% |

## 小売業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）の業況D.I.は、△36.7（前期△40.8）と改善を示した。年末年始等の消費意欲が高まる時期を過ぎても引き続き業況は改善しているとの回答が多かった。良くも悪くも人出が増え、少しずつ経済が回るようになってきたといえる。

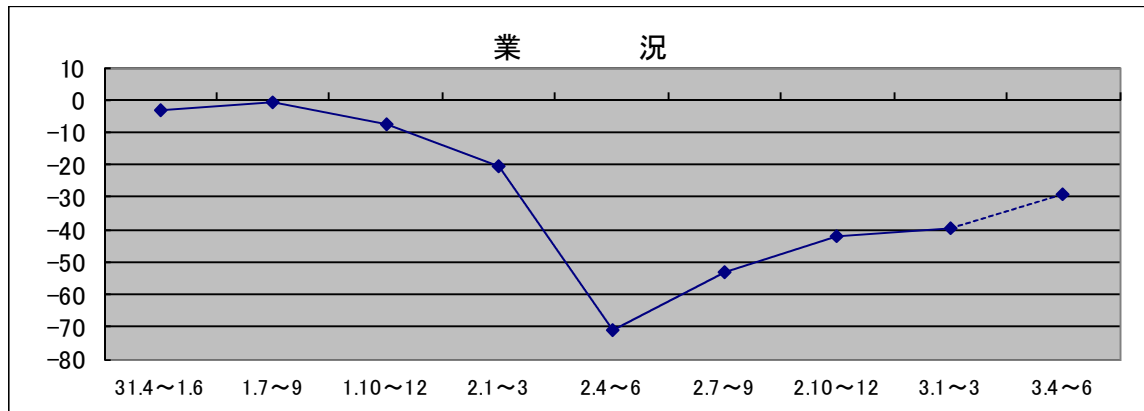
来期（R 3.4月～6月）業況D.I.については△35.1と横這いを予想。新型コロナウイルスの第四波により悪影響が出る可能性があることから、楽観視できない状況が続く。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △22.9       | △11.6 | △21.5  | △30.5 | △69.1 | △51.1 | △40.8  | △36.7 | △35.1 |
| 売 上  | △15.4       | △2.1  | △16.9  | △27.8 | △63.9 | △25.5 | △30.4  | △36.2 | △26.6 |
| 収 益  | △15.4       | △2.6  | △16.9  | △27.3 | △63.9 | △23.4 | △29.9  | △2.1  | △4.3  |
| 資金繰り | △12.9       | △11.1 | △7.7   | △14.4 | △25.1 | △12.0 | △8.7   | 0.0   | 0.0   |
| 販売価格 | 4.0         | 0.0   | 11.8   | △4.3  | △9.9  | △0.5  | △12.5  | 3.2   | △1.6  |
| 在 庫  | 1.0         | 5.8   | 2.6    | 4.3   | 3.7   | 1.6   | △4.3   | △11.2 | △11.7 |

| 経営上の問題点      |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少     | 19.6% | 提携先を見つける         | 33.1% |
| 地価の高騰        | 16.6% | 経費を削減する          | 22.9% |
| 工場・機械の狭小。老朽化 | 12.9% | 販路を広げる           | 12.2% |

## サービス業



### 【概 況】

今期（R 3.1～3月）業況D.I.は、人出が少ない寒い時期であり、コロナによる自主的な時短営業等が続いた中で△39.8（前期△42.1）と改善した。

各種イベント等も感染対策を徹底して開催する数が増えてきたが、感染拡大防止のため中止・自粛が決定している祭りや行事、催事もあるのが現状である。

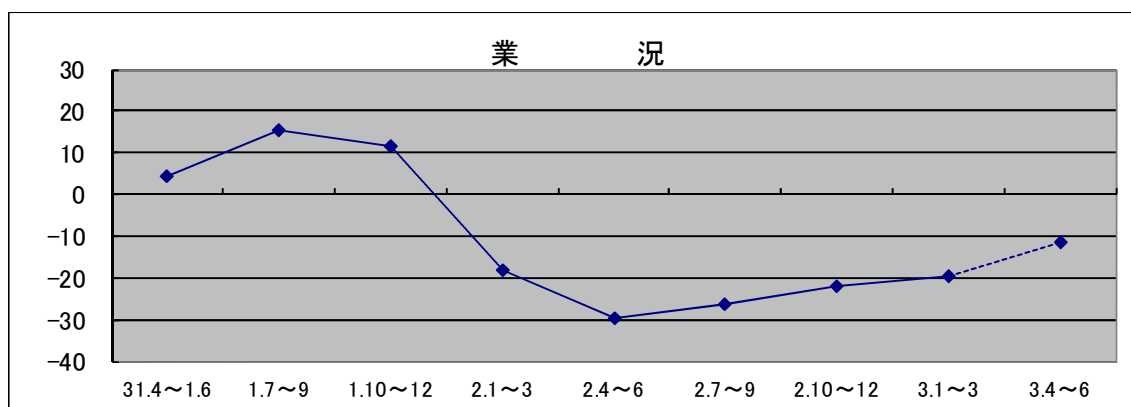
今後コロナウイルス第四波発生の恐れは拭えないが、行事・催事等を慎重に開催していく方向で来期（R 3.4月～6月）業況D.I.は△29.2と引き続き改善を予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |      |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △3.4        | △1.0 | △7.8   | △20.5 | △71.2 | △53.4 | △42.1  | △39.8 | △29.2 |
| 売 上  | △4.2        | △2.0 | △9.5   | △23.9 | △70.3 | △35.3 | △32.5  | △31.9 | △31.0 |
| 収 益  | △5.9        | △3.0 | △11.2  | △23.9 | △68.5 | △34.5 | △31.6  | △3.5  | △2.7  |
| 資金繰り | △13.6       | △6.9 | △10.3  | △16.2 | △39.6 | △20.7 | △17.5  | 0.0   | 0.0   |
| 販売価格 | 5.9         | 2.0  | 5.2    | 1.7   | △6.3  | △1.7  | 0.0    | △0.9  | 0.0   |
| 在 庫  | △5.1        | △5.9 | △5.2   | △3.4  | △1.8  | △1.7  | △1.8   | 0.0   | 0.0   |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 19.0% | 提携先を見つける         | 33.1% |
| 輸入製品との競争の激化 | 18.4% | 経費を節減する          | 20.1% |
| 代金回収の悪化     | 13.4% | 宣伝・広告を強化する       | 14.0% |

## 建設業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）の業況D.I.は、前期から横這いとの予想をしたが、北陸新幹線関連工事、公共工事について引き続き動きがあったことで△19.8（前期△22.1）と改善を示した。しかしコロナ禍で民間工事、一般住宅建設は依然低迷が続いており、民間需要を伸ばす施策が求められている。

経営上の問題点は「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」とで前回の一位と二位が入れ替わり、市場の停滞感をより強く感じていることが伺われる。

来期（R 3.4月～6月）の業況D.I.は、建設シーズンであることから△11.6と改善、各項目全てにおいても改善を予想しているが、経営上の問題点にも挙げられている通り、人手不足が懸念される。

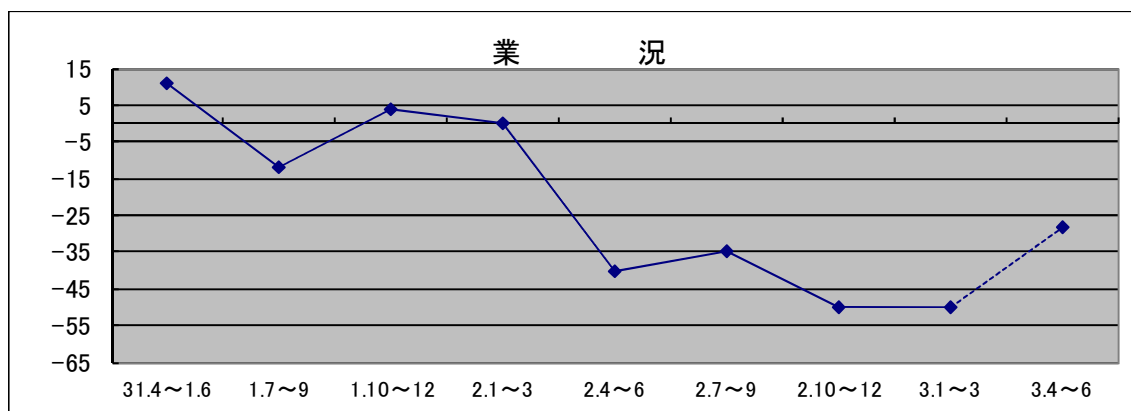
### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | 4.2         | 15.4  | 11.7   | △18.2 | △29.9 | △26.5 | △22.1  | △19.8 | △11.6 |
| 売 上  | 6.3         | 15.4  | 13.8   | △20.5 | △46.0 | △15.7 | △16.3  | △22.1 | △10.5 |
| 収 益  | 2.1         | 9.9   | 10.6   | △11.4 | △43.7 | △10.8 | △10.5  | △12.8 | △10.5 |
| 資金繰り | 2.1         | △2.2  | 2.1    | △13.6 | △24.1 | △6.0  | △10.5  | △7.0  | △1.2  |
| 販売価格 | △4.2        | 1.1   | 11.7   | △4.5  | △19.5 | △3.6  | △9.3   | △20.9 | △14.0 |
| 在 庫  | △23.2       | △22.0 | △25.5  | △12.5 | △11.5 | △7.2  | △3.5   | 1.2   | 3.5   |

| 経営上の問題点    |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少   | 15.7% | 技術力を高める          | 25.8% |
| 同業者間の競争の激化 | 15.2% | 経費を節減する          | 21.0% |
| 人手不足       | 10.0% | 情報力を強化する         | 11.2% |



## 不動産業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）の業況D.I.は、△50.0（前期△50.0）を示し、各項目についても全て横這いとなった。原因は本アンケートが3月初頭の回答であり、前期予想した、人の移動による業況回復が実数に表れなかったためである。

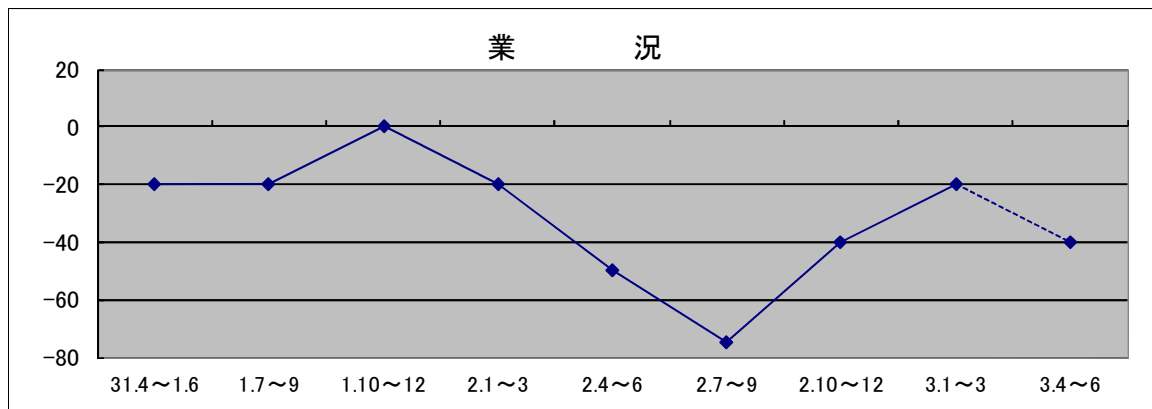
来期（R 3.4月～6月）業況D.I.は、△38.5と年度の変わり目の入学や新社会人などの人の移動による賃貸物件の稼働率上昇と戸建ての新築物件販売が増え始める時期であることなどから改善を予想し、各項目の殆どで改善を予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年 |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | 11.1        | △12.2 | 3.7    | 0.0  | △40.0 | △34.6 | △50.0  | △50.0 | △38.5 |
| 売 上  | 7.4         | △4.9  | 3.7    | 3.8  | △36.0 | △34.6 | △34.6  | △34.6 | △15.4 |
| 収 益  | 7.4         | △7.3  | 3.7    | 3.8  | △36.0 | △34.6 | △34.6  | △34.6 | △19.2 |
| 資金繰り | 3.7         | △7.3  | 3.7    | △7.7 | △24.0 | △7.7  | △19.2  | △19.2 | △11.5 |
| 販売価格 | 14.8        | 9.8   | 11.1   | 3.8  | △4.0  | △19.2 | △7.7   | △7.7  | △11.5 |
| 在 庫  | 0.0         | 2.4   | △3.7   | 0.0  | △8.0  | △3.8  | △3.8   | △3.8  | 0.0   |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 32.1% | 経費を節減する          | 19.4% |
| 同業者間の競争の激化  | 32.1% | 提携先を見つける         | 19.4% |
| 大手企業との競争の激化 | 17.9% | 宣伝・広告を強化する       | 16.1% |

# 能登地区の縫製業



## 【概 況】

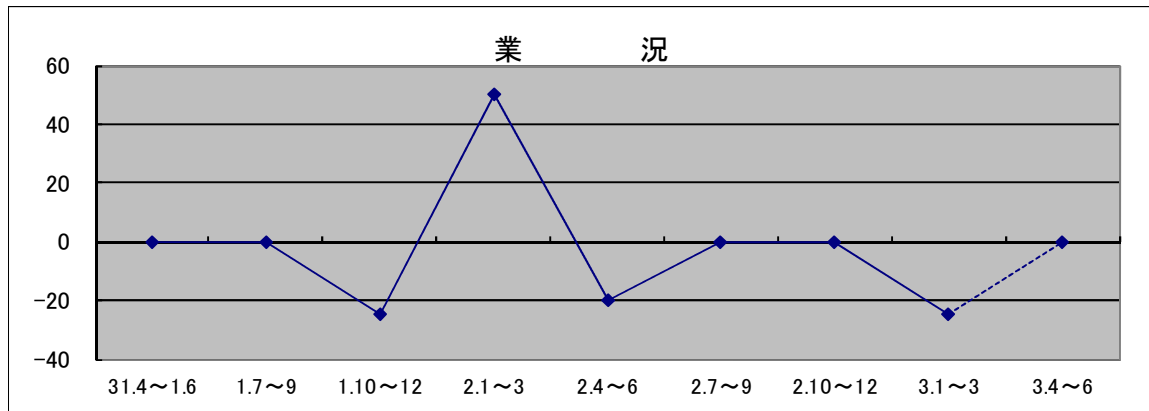
今期（R 3.1月～3月）の業況D.I.は、前期では横這いを予想していたが、結果△20.0と改善した。前期と比較して業況が悪化したとの回答が減少し、前期同様医療用製品が堅調に推移したものである。しかしコロナ禍以前の状況には遠い。来期（R 3.4月～6月）はコロナウイルスの第四波が到来する恐れがあることから、未だ先行きは不透明で業況・売上は再び悪化を予想し、慎重な見方をしていく。

## 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △20.0       | △20.0 | 0.0    | △20.0 | △50.0 | △75.0 | △40.0  | △20.0 | △40.0 |
| 売 上  | 0.0         | △40.0 | 20.0   | △20.0 | △75.0 | △25.0 | 20.0   | 0.0   | △40.0 |
| 収 益  | △20.0       | △40.0 | 0.0    | △20.0 | △75.0 | △25.0 | 0.0    | △20.0 | △20.0 |
| 資金繰り | △20.0       | 0.0   | 0.0    | 0.0   | △25.0 | △25.0 | 0.0    | 0.0   | 0.0   |
| 人 手  | △20.0       | △20.0 | 0.0    | △20.0 | 0.0   | △25.0 | 0.0    | △40.0 | 0.0   |
| 設 備  | 0.0         | 0.0   | 0.0    | △20.0 | △25.0 | 0.0   | 0.0    | △20.0 | △20.0 |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 輸入製品との競争の激化 | 33.3% | 工場、機械を増設、移転する    | 18.8% |
| 売上の停滞・減少    | 19.0% | 経費を節減する          | 12.5% |
| 人手不足        | 14.3% | 販路を広げる           | 12.5% |

## 能登地区の電子部品・半導体製造業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）業況D.I.は、△25.0と前期より悪化。売上・収益の悪化が主な原因である。理由として、電子端末の製造や通信基地局の設置等で世界的な半導体需要が高まっている中、需給が逼迫して日本の自動車メーカーが受ける形で生産調整・減産を余儀なくされ、自動車関連の半導体搭載部品やハーネス等の部品受注が減少したことが挙げられる。

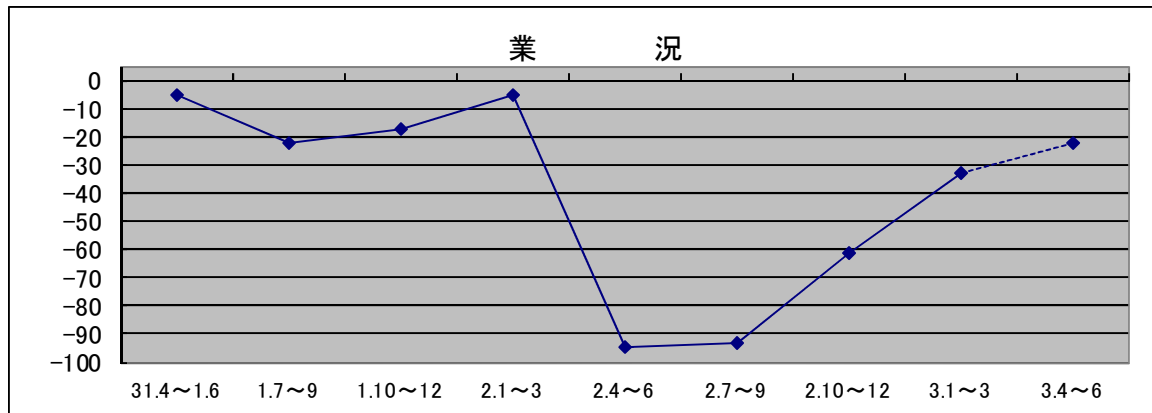
来期（R 3.4月～6月）、業況D.I.は改善するが、売上・収益・資金繰り・人手・設備は横這いを予想している。業況は上向くが、実績に反映されるまで時間差があるためと考えられる。今後も動向を注視していく。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |        |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月   | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | 0.0         | 0.0    | △25.0  | 50.0  | △20.0 | 0.0   | 0.0    | △25.0 | 0.0   |
| 売 上  | △33.3       | △100.0 | 25.0   | 50.0  | △20.0 | 0.0   | 40.0   | △25.0 | △25.0 |
| 収 益  | 0.0         | △100.0 | 0.0    | 50.0  | △40.0 | 0.0   | 40.0   | △25.0 | △25.0 |
| 資金繰り | 0.0         | △50.0  | △25.0  | 0.0   | △40.0 | △33.3 | 0.0    | 0.0   | 0.0   |
| 人 手  | 0.0         | 0.0    | 25.0   | △50.0 | △20.0 | 0.0   | △20.0  | 0.0   | 0.0   |
| 設 備  | 0.0         | 0.0    | △25.0  | 0.0   | 0.0   | △33.3 | 0.0    | 0.0   | 0.0   |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 輸入製品との競争の激化 | 37.5% | 提携先を見つける         | 28.6% |
| 売上の停滞・減少    | 37.5% | 経費を節減する          | 28.6% |
| 合理化の不足      | 12.5% | 人材を確保する          | 14.3% |

## 能登地区の漆器業



### 【概 況】

今期業況D.I.は、緊急事態宣言解除の影響で人の動きが戻り、前期比較で悪化の回答が減少し△33.3（前期△61.1）と改善した。しかし海外観光客の入国制限が続いており依然業況は厳しい。

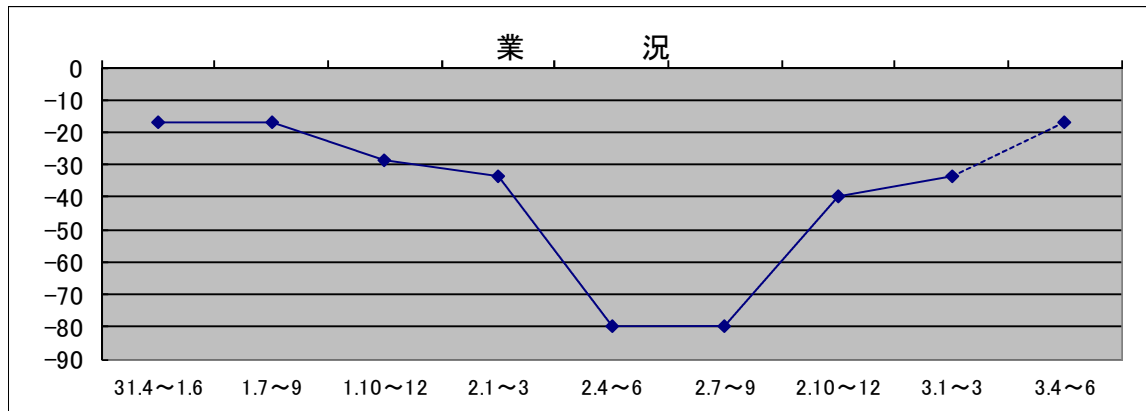
来期（R3.4月～6月）は新型コロナウイルス感染症の影響が続くとみられるが、市内入込客・宿泊客・朝市客が2月より回復してきていることから、業況D.I.をはじめ、全ての項目で改善もしくは現状維持を予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △5.6        | △22.2 | △17.6  | △5.6  | △94.4 | △93.3 | △61.1  | △33.3 | △22.2 |
| 売 上  | △5.6        | 0.0   | △5.6   | △5.6  | △88.9 | △46.7 | △33.3  | △33.3 | △5.6  |
| 収 益  | △11.1       | 0.0   | △5.6   | △5.6  | △88.9 | △53.3 | △33.3  | △33.3 | △5.6  |
| 資金繰り | △38.9       | 0.0   | △11.1  | △11.1 | △61.1 | △20.0 | △38.9  | △22.2 | △5.6  |
| 人 手  | △11.1       | 0.0   | 5.6    | 5.6   | 5.6   | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   |
| 設 備  | 0.0         | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 5.6   | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   |

| 経営上の問題点  |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|----------|-------|------------------|-------|
| 地場産業の衰退  | 22.0% | 提携先を見つける         | 34.6% |
| 売上の停滞・減少 | 12.2% | 販路を広げる           | 21.2% |
| 原材料高     | 9.8%  | 経費を削減する          | 19.2% |

## 能登地区の木材業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3）業況D.I.は、前回の△40.0にたいして△33.3と改善した。売上・収益は悪化しているが、資金繰りは改善している。来期は建設シーズンを迎えるため、業況をはじめ全ての項目で改善、もしくは横這いを予測している。

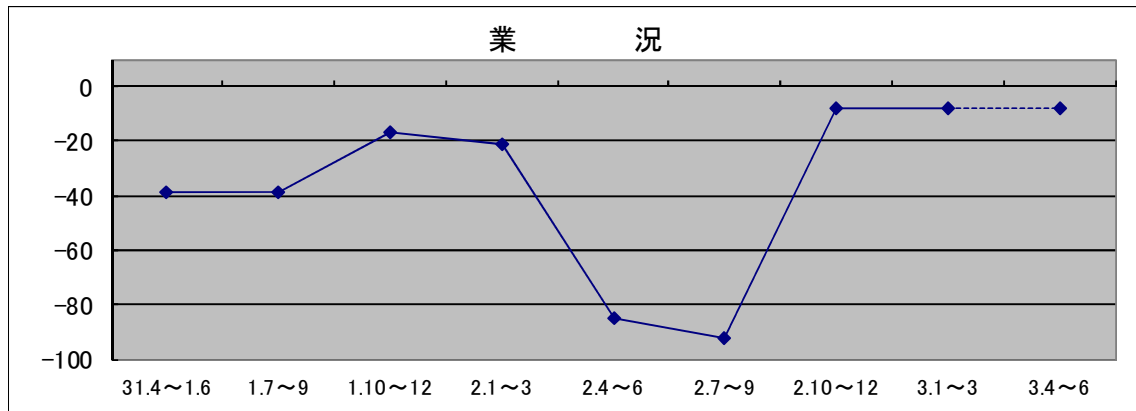
経営上の問題点として「売上の停滞・減少」、「輸入製品との競争の激化」が前回と同じく一位・二位となり、加えて「同業者間の競争の激化」が同率二位となった。市場の停滞感とパイの取り合いを強く意識しているとみられる。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △16.7       | △16.7 | △28.6  | △33.3 | △80.0 | △80.0 | △40.0  | △33.3 | △16.7 |
| 売 上  | △16.7       | 0.0   | △28.6  | △33.3 | △80.0 | △80.0 | △40.0  | △50.0 | △33.3 |
| 収 益  | △16.7       | 0.0   | △28.6  | △33.3 | △80.0 | △80.0 | △40.0  | △50.0 | △33.3 |
| 資金繰り | △16.7       | △16.7 | △28.6  | △16.7 | △60.0 | △20.0 | △40.0  | △33.3 | △33.3 |
| 人 手  | 0.0         | 0.0   | △14.3  | 0.0   | △20.0 | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   |
| 設 備  | △16.7       | △16.7 | 0.0    | △16.7 | △50.0 | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 27.3% | 提携先を見つける         | 40.0% |
| 同業者間の競争の激化  | 18.2% | 販路を広げる           | 20.0% |
| 輸入製品との競争の激化 | 18.2% | 経費を節減する          | 20.0% |

## 能登地区の建具業



### 【概 況】

今期は業況D.I.を含め前期比較で全ての数値が横這いとなった。来期（R 3.4月～6月）の予測数値も全て横這いで現状維持と予想しており、市場が業況悪化の状況を抜けて一旦沈静化したとの見方をしていると思われる。

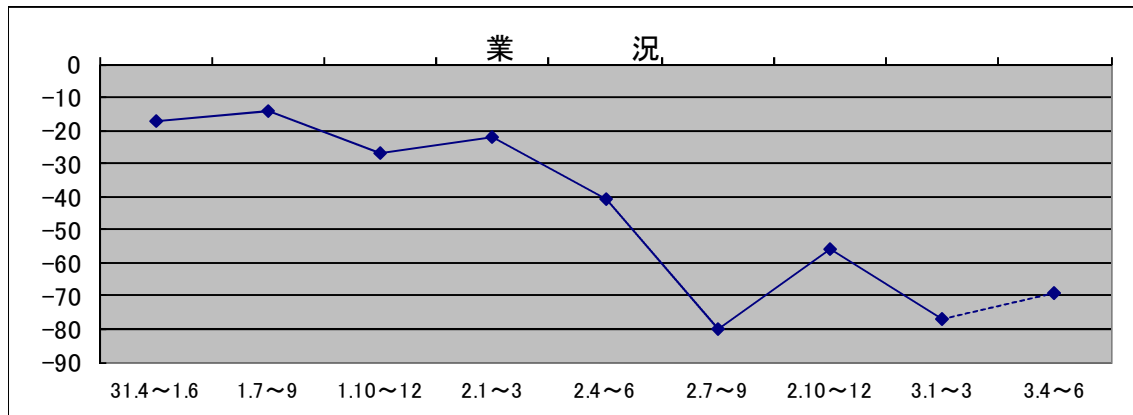
経営上の問題点として「売上の停滞・減少」が挙げられ、打開策も前回同様「提携先を見つける」の回答が多かった。コロナの影響が収まらない中、市場の停滞感を強く感じている経営者が多く、前述の回答結果になったとみられる。来期は建設シーズンを迎えるが、コロナウイルスの第四波が訪れると受注減による景気悪化は免れず、倒産・廃業する企業も出てくる恐れがあるため楽観視はできない。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        |       | 令和2年  |       |        | 令和3年 | 見通し  |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|------|------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 |
| 業 況  | △38.5       | △38.5 | △16.7  | △21.4 | △84.6 | △92.3 | △7.7   | △7.7 | △7.7 |
| 売 上  | △38.5       | △38.5 | △16.7  | △21.4 | △84.6 | △7.7  | 0.0    | 0.0  | 0.0  |
| 収 益  | △38.5       | △38.5 | △16.7  | △21.4 | △84.6 | △7.7  | 0.0    | 0.0  | 0.0  |
| 資金繰り | 0.0         | 0.0   | 0.0    | 0.0   | △76.9 | △7.7  | 0.0    | 0.0  | 0.0  |
| 人 手  | 0.0         | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0    | 0.0  | 0.0  |
| 設 備  | 0.0         | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0    | 0.0  | 0.0  |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 40.6% | 提携先を見つける         | 48.0% |
| 同業者間の競争の激化  | 28.1% | 販路を広げる           | 26.0% |
| 輸入製品との競争の激化 | 12.5% | 経費を節減する          | 24.0% |

## 能登地区の織布業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）業況D.I.は、△76.9（前期△55.6）と再び悪化を示した。売上・収益は大幅に悪化、資金繰り・人手は改善しているが、全体的には悪化した。外出控えが続きアパレルの売れ行きが芳しくない状況が続いていることが大きい原因である。特殊製品に関しても、車のタイミングベルトの裏地は自動車の減産や生産調整を受けて受注減となっているなど、織布業界全体として業況は芳しくない。

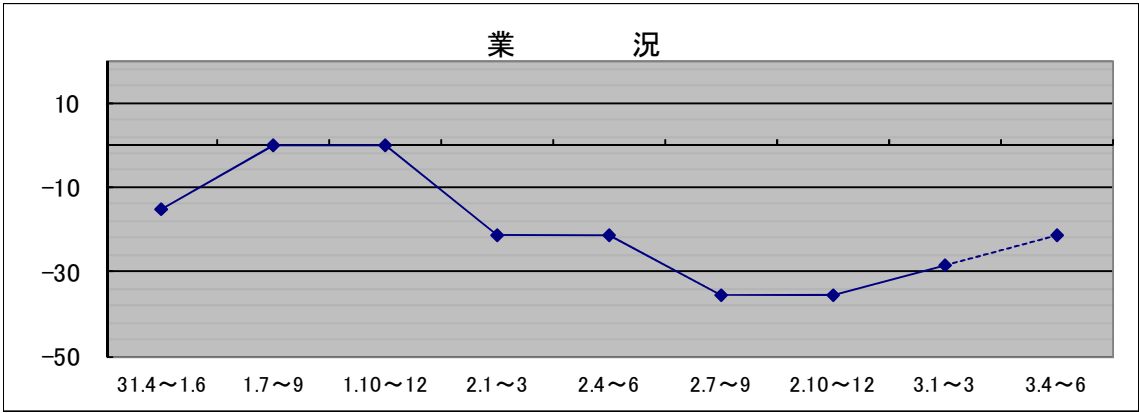
来期（R 3.4月～6月）は売上・収益・資金繰りが回復し、業況D.I.も改善するとの見通しをたてているが、改善と悪化を行き来している状況が続いており、今後も動向に注視が必要である。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |       |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | △17.2       | △14.3 | △26.9  | △22.2 | △40.7 | △80.0 | △55.6  | △76.9 | △69.2 |
| 売 上  | △13.8       | △7.1  | △19.2  | △22.2 | △48.1 | △64.0 | △29.6  | △65.4 | △38.5 |
| 収 益  | △13.8       | △7.1  | △19.2  | △18.5 | △48.1 | △60.0 | △29.6  | △69.2 | △38.5 |
| 資金繰り | △6.9        | △10.7 | △15.4  | △11.1 | △22.2 | △24.0 | △14.8  | △11.5 | △3.8  |
| 人 手  | △17.2       | △17.9 | △11.5  | △11.1 | 0.0   | 0.0   | △7.4   | 7.7   | 7.7   |
| 設 備  | △10.3       | △7.1  | △7.7   | △7.4  | △7.4  | △4.0  | 3.7    | 0.0   | 0.0   |

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 売上の停滞・減少    | 21.4% | 提携先を見つける         | 33.3% |
| 輸入製品との競争の激化 | 20.2% | 販路を広げる           | 20.0% |
| 利幅の縮小       | 10.7% | 経費を節減する          | 16.0% |

# 能登地区の繊維・雑品業



## 【概況】

今期（R 3.1月～3月）業況D.I.は、△28.6と改善を示し、売上と収益、設備は横這い、資金繰りと人手は悪化となった。

今期は一般向けの商品の需要が改善し、前期に歳暮時期で高まったゴム入り組紐の一時的な需要が終了した。厳しい状況が続いているが、徐々に改善傾向となっている。来期（R 3.4月～6月）の業況D.I.については△21.4と改善し、各項目については全て横這いを予想している。

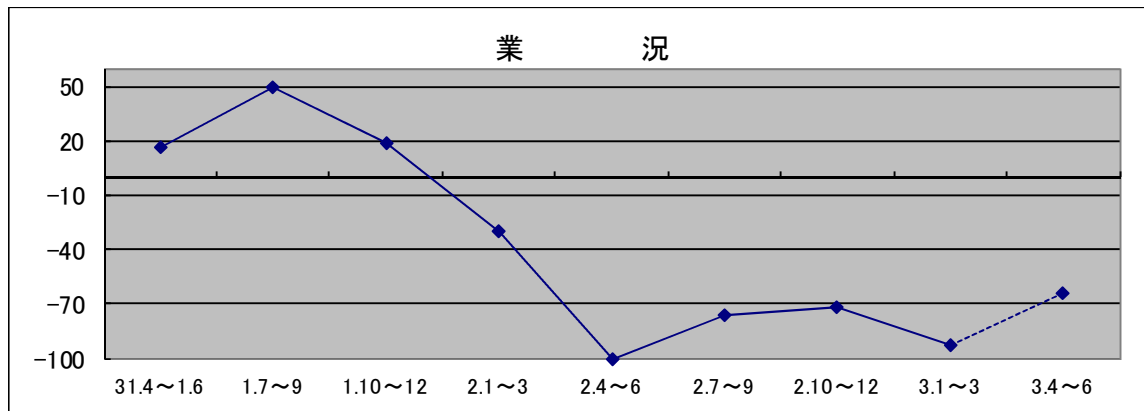
|      | 平成31年（令和1年） |      |        |       | 令和2年  |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業況   | △15.4       | 0.0  | 0.0    | △21.4 | △21.4 | △35.7 | △35.7  | △28.6 | △21.4 |
| 売上   | 0.0         | 7.7  | △7.1   | △28.6 | △21.4 | △21.4 | △21.4  | △21.4 | △21.4 |
| 収益   | △7.7        | △7.7 | 0.0    | △21.4 | △21.4 | △21.4 | △21.4  | △21.4 | △21.4 |
| 資金繰り | 0.0         | △7.7 | △7.1   | △7.1  | △7.1  | △14.3 | 0.0    | △14.3 | △14.3 |
| 人手   | 0.0         | 0.0  | 0.0    | 0.0   | 7.1   | 0.0   | 0.0    | △21.4 | △21.4 |
| 設備   | 0.0         | 0.0  | 0.0    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0    | 0.0   | 0.0   |

## 《業績判断D.I.の推移》

| 経営上の問題点     |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|-------------|-------|------------------|-------|
| 輸入製品との競争の激化 | 20.5% | 提携先を見つける         | 27.8% |
| 売上の停滞・減少    | 18.2% | 販路を広げる           | 22.2% |
| 人件費の増加      | 11.4% | 経費を節減する          | 13.9% |



## 能登地区の観光業



### 【概 況】

今期（R 3.1月～3月）は Go To キャンペーンの停止等の影響により、業況D.I.は前期（R 2.10月～12月）の△71.4から△92.9と悪化を示した。感染対策を取りつつ徐々に人の動きが戻り始めたが、コロナウイルスの第四波が広がる懸念から外出自粛ムードが広がり、売上は大きく悪化した。

来期予想は、入国制限の解除が未定で、Go To キャンペーンの再開も未定であるため依然厳しい状況は続くが、気温が上昇し人出が増える時期で各種イベントの開催も多くある予定から、次期業況D.I.は△64.3と改善を予想。項目毎においても人手以外は全て改善を予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

|      | 平成31年（令和1年） |       |        | 令和2年  |        |       |        | 令和3年  | 見通し   |
|------|-------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
|      | 4～6月        | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月   | 7～9月  | 10～12月 | 1～3月  | 4～6月  |
| 業 況  | 16.7        | 50.0  | 18.8   | △29.4 | △100.0 | △76.5 | △71.4  | △92.9 | △64.3 |
| 売 上  | 44.4        | 57.1  | △6.2   | △35.3 | △100.0 | △11.8 | △57.1  | △92.9 | △57.1 |
| 収 益  | 33.3        | 57.1  | △6.2   | △35.3 | △100.0 | △11.8 | △57.1  | △14.3 | 0.0   |
| 資金繰り | △22.2       | △7.1  | 0.0    | △35.3 | △73.3  | △29.4 | △28.6  | 0.0   | 0.0   |
| 人 手  | 5.6         | 0.0   | 12.5   | 5.9   | △13.3  | 5.9   | △21.4  | 0.0   | △7.1  |
| 設 備  | △11.1       | △21.4 | △6.2   | △11.8 | 6.7    | △5.9  | △7.1   | △21.4 | △14.3 |

| 経営上の問題点    |       | 当面の重点施策（経営のポイント） |       |
|------------|-------|------------------|-------|
| 利幅の縮小      | 31.8% | 提携先を見つける         | 32.5% |
| 売上の停滞・減少   | 29.5% | 宣伝・広告を強化する       | 22.5% |
| 同業者間の競争の激化 | 11.4% | 経費を節減する          | 20.0% |

## 主要経済指標

### ◆ 労働

(時間)

|        | 有効求人倍率<br>(季節調整値) | 実質労働時間 |       |
|--------|-------------------|--------|-------|
|        |                   |        | うち所定外 |
| 31年 4月 | 1.95              | 148.8  | 10.4  |
| 1年 5月  | 1.88              | 137.1  | 9.7   |
| 1年 6月  | 1.97              | 148.0  | 9.8   |
| 1年 7月  | 2.00              | 150.3  | 9.8   |
| 1年 8月  | 2.03              | 141.8  | 9.4   |
| 1年 9月  | 2.00              | 146.0  | 10.2  |
| 1年 10月 | 1.92              | 146.5  | 10.1  |
| 1年 11月 | 1.89              | 149.4  | 10.1  |
| 1年 12月 | 1.89              | 147.7  | 9.7   |
| 2年 1月  | 1.73              | 134.4  | 8.2   |
| 2年 2月  | 1.70              | 142.8  | 9.0   |
| 2年 3月  | 1.59              | 143.2  | 9.3   |
| 2年 4月  | 1.46              | 143.8  | 8.2   |
| 2年 5月  | 1.32              | 124.7  | 5.8   |
| 2年 6月  | 1.19              | 140.0  | 6.2   |
| 2年 7月  | 1.15              | 142.0  | 7.2   |
| 2年 8月  | 1.10              | 132.0  | 7.3   |
| 2年 9月  | 1.09              | 139.5  | 7.7   |
| 2年 10月 | 1.12              | 142.8  | 7.8   |
| 2年 11月 | 1.18              | 142.4  | 8.4   |
| 2年 12月 | 1.23              | 141.9  | 8.7   |
| 3年 1月  | 1.22              | 127.9  | 7.4   |

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

|        | 総合    | 前年同月比 |
|--------|-------|-------|
| 31年 4月 | 102.9 | 1.1   |
| 1年 5月  | 102.9 | 0.8   |
| 1年 6月  | 102.4 | 0.5   |
| 1年 7月  | 102.3 | 0.3   |
| 1年 8月  | 102.8 | 0.1   |
| 1年 9月  | 102.7 | 0.2   |
| 1年 10月 | 103.3 | 0.4   |
| 1年 11月 | 103.2 | 0.7   |
| 1年 12月 | 103.1 | 0.9   |
| 2年 1月  | 103.0 | 0.9   |
| 2年 2月  | 102.6 | 0.7   |
| 2年 3月  | 102.7 | 0.2   |
| 2年 4月  | 102.5 | -0.4  |
| 2年 5月  | 102.7 | -0.2  |
| 2年 6月  | 102.7 | 0.3   |
| 2年 7月  | 102.6 | 0.3   |
| 2年 8月  | 102.6 | -0.2  |
| 2年 9月  | 102.2 | -0.4  |
| 2年 10月 | 102.6 | -0.7  |
| 2年 11月 | 102.2 | -1.0  |
| 2年 12月 | 102.0 | -1.1  |
| 3年 1月  | 102.6 | -0.4  |
| 3年 2月  | 102.5 | -0.1  |

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 信用保証

(百万円)

|        | 保証承諾  |        | 保証債務   |         |
|--------|-------|--------|--------|---------|
|        | 件数    | 金額     | 件数     | 金額      |
| 1年 7月  | 315   | 3,079  | 14,403 | 105,560 |
| 1年 8月  | 291   | 2,371  | 14,280 | 105,204 |
| 1年 9月  | 307   | 2,493  | 14,167 | 104,868 |
| 1年 10月 | 253   | 1,899  | 14,016 | 104,188 |
| 1年 11月 | 292   | 3,129  | 13,873 | 103,849 |
| 1年 12月 | 321   | 3,060  | 13,750 | 103,852 |
| 2年 1月  | 223   | 2,433  | 13,699 | 103,526 |
| 2年 2月  | 239   | 2,216  | 13,597 | 102,959 |
| 2年 3月  | 456   | 5,922  | 13,470 | 103,826 |
| 2年 4月  | 819   | 17,705 | 13,801 | 112,928 |
| 2年 5月  | 1,308 | 24,918 | 14,410 | 127,514 |
| 2年 6月  | 2,432 | 39,481 | 15,797 | 158,744 |
| 2年 7月  | 3,047 | 60,623 | 17,670 | 197,906 |
| 2年 8月  | 1,697 | 31,987 | 19,261 | 234,113 |
| 2年 9月  | 995   | 16,859 | 20,150 | 254,510 |
| 2年 10月 | 818   | 11,511 | 20,735 | 266,133 |
| 2年 11月 | 735   | 10,759 | 21,137 | 273,184 |
| 2年 12月 | 913   | 11,887 | 21,709 | 282,686 |
| 3年 1月  | 420   | 4,714  | 22,087 | 287,516 |
| 3年 2月  | 638   | 10,395 | 22,292 | 290,467 |

資料: 石川県信用保証協会

### ◆ 企業倒産件数

(百万円)

|        | 件数 | 金額    |
|--------|----|-------|
| 1年 6月  | 7  | 107   |
| 1年 7月  | 9  | 281   |
| 1年 8月  | 6  | 591   |
| 1年 9月  | 8  | 417   |
| 1年 10月 | 5  | 414   |
| 1年 11月 | 5  | 601   |
| 1年 12月 | 3  | 30    |
| 2年 1月  | 8  | 1,916 |
| 2年 2月  | 8  | 910   |
| 2年 3月  | 4  | 198   |
| 2年 4月  | 5  | 471   |
| 2年 5月  | 4  | 1,635 |
| 2年 6月  | 7  | 644   |
| 2年 7月  | 10 | 1,210 |
| 2年 8月  | 3  | 718   |
| 2年 9月  | 3  | 89    |
| 2年 10月 | 4  | 367   |
| 2年 11月 | 6  | 707   |
| 2年 12月 | 6  | 413   |
| 3年 1月  | 2  | 170   |
| 3年 2月  | 4  | 385   |

資料: (株)東京商工リサーチ

# 主要経済指標

## ◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

|        | 建築着工総数 |        | うち住宅着工 |     |
|--------|--------|--------|--------|-----|
|        | 床面積    | 工事予定額  | 戸数(戸)  | 床面積 |
| 31年 3月 | 116    | 24,600 | 732    | 76  |
| 31年 4月 | 162    | 30,811 | 782    | 75  |
| 31年 5月 | 103    | 17,880 | 569    | 59  |
| 31年 6月 | 120    | 21,572 | 1,001  | 86  |
| 31年 7月 | 97     | 19,022 | 689    | 62  |
| 31年 8月 | 113    | 22,725 | 612    | 60  |
| 31年 9月 | 100    | 15,630 | 598    | 57  |
| 1年 10月 | 97     | 17,816 | 745    | 66  |
| 1年 11月 | 141    | 29,300 | 740    | 70  |
| 1年 12月 | 98     | 27,393 | 552    | 50  |
| 2年 1月  | 76     | 13,352 | 456    | 44  |
| 2年 2月  | 75     | 1,647  | 399    | 36  |
| 2年 3月  | 194    | 3,733  | 605    | 59  |
| 2年 4月  | 95     | 1,869  | 569    | 56  |
| 2年 5月  | 96     | 2,047  | 456    | 47  |
| 2年 6月  | 118    | 2,673  | 647    | 58  |
| 2年 7月  | 78     | 1,514  | 710    | 57  |
| 2年 8月  | 109    | 2,200  | 728    | 62  |
| 2年 9月  | 72     | 1,460  | 531    | 45  |
| 2年 10月 | 82     | 1,529  | 504    | 50  |
| 2年 11月 | 96     | 1,935  | 672    | 61  |
| 2年 12月 | 80     | 16,045 | 590    | 54  |
| 3年 1月  | 51     | 12,277 | 310    | 31  |

## ◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

|        | 件数  | 請負金額   |
|--------|-----|--------|
| 31年 3月 | 229 | 8,061  |
| 31年 4月 | 447 | 51,963 |
| 31年 5月 | 437 | 28,033 |
| 31年 6月 | 545 | 14,207 |
| 31年 7月 | 628 | 19,993 |
| 31年 8月 | 426 | 10,617 |
| 31年 9月 | 506 | 15,203 |
| 1年 10月 | 538 | 15,128 |
| 1年 11月 | 421 | 8,984  |
| 1年 12月 | 337 | 6,335  |
| 2年 1月  | 271 | 6,562  |
| 2年 2月  | 224 | 7,833  |
| 2年 3月  | 124 | 3,595  |
| 2年 4月  | 565 | 45,139 |
| 2年 5月  | 372 | 20,575 |
| 2年 6月  | 574 | 17,880 |
| 2年 7月  | 637 | 17,721 |
| 2年 8月  | 505 | 11,694 |
| 2年 9月  | 553 | 14,120 |
| 2年 10月 | 546 | 12,814 |
| 2年 11月 | 345 | 6,843  |
| 2年 12月 | 299 | 7,262  |
| 3年 1月  | 211 | 5,262  |
| 3年 2月  | 152 | 3,599  |

資料:国土交通省(石川県内)

## ◆ 新車登録台数

(台)

|        | 普通自動車 | 軽自動車  |
|--------|-------|-------|
| 31年 3月 | 5,850 | 2,901 |
| 31年 4月 | 2,511 | 1,570 |
| 1年 5月  | 2,731 | 1,608 |
| 1年 6月  | 3,271 | 1,780 |
| 1年 7月  | 3,505 | 1,701 |
| 1年 8月  | 2,563 | 1,601 |
| 1年 9月  | 3,702 | 2,183 |
| 1年 10月 | 2,037 | 1,322 |
| 1年 11月 | 2,618 | 1,401 |
| 1年 12月 | 2,412 | 1,201 |
| 2年 1月  | 2,199 | 1,338 |
| 2年 2月  | 3,132 | 1,818 |
| 2年 3月  | 4,963 | 2,601 |
| 2年 4月  | 1,657 | 941   |
| 2年 5月  | 1,611 | 713   |
| 2年 6月  | 2,244 | 1,465 |
| 2年 7月  | 2,649 | 1,690 |
| 2年 8月  | 1,918 | 1,383 |
| 2年 9月  | 3,048 | 1,881 |
| 2年 10月 | 2,661 | 1,581 |
| 2年 11月 | 2,514 | 1,640 |
| 2年 12月 | 2,339 | 1,383 |
| 3年 1月  | 2,250 | 1,326 |
| 3年 2月  | 2,705 | 1,740 |

資料:石川県自動車販売店協会

## ◆ 温泉地宿泊数

(人)

|        | 和倉温泉   | 輪島温泉   |
|--------|--------|--------|
| 31年 4月 | 58,625 | 13,200 |
| 1年 5月  | 63,596 | 16,700 |
| 1年 6月  | 60,805 | 13,300 |
| 1年 7月  | 58,182 | 14,100 |
| 1年 8月  | 92,608 | 20,700 |
| 1年 9月  | 65,094 | 14,600 |
| 1年 10月 | 67,084 | 15,400 |
| 1年 11月 | 80,191 | 16,800 |
| 1年 12月 | 67,743 | 11,200 |
| 2年 1月  | 53,477 | 8,800  |
| 2年 2月  | 53,368 | 10,400 |
| 2年 3月  | 33,444 | 6,600  |
| 2年 4月  | 5,366  | 1,300  |
| 2年 5月  | 267    | 2,400  |
| 2年 6月  | 12,897 | 5,300  |
| 2年 7月  | 46,678 | 9,800  |
| 2年 8月  | 55,528 | 13,700 |
| 2年 9月  | 40,084 | 11,200 |
| 2年 10月 | 52,385 | 14,300 |
| 2年 11月 | 64,437 | 16,500 |
| 2年 12月 | 49,849 | 10,000 |
| 3年 1月  | 10,858 | 3,600  |
| 3年 2月  | 10,622 | 4,000  |

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会  
輪島市観光協会

## ◆ 織物生産高

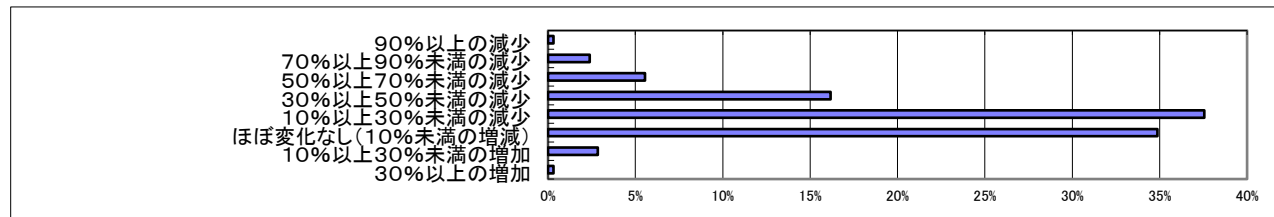
(千㎡)

|        | 合計     |
|--------|--------|
| 31年 3月 | 23,248 |
| 31年 4月 | 22,002 |
| 1年 5月  | 22,017 |
| 1年 6月  | 22,592 |
| 1年 7月  | 23,924 |
| 1年 8月  | 20,338 |
| 1年 9月  | 22,278 |
| 1年 10月 | 24,547 |
| 1年 11月 | 22,574 |
| 1年 12月 | 21,202 |
| 2年 1月  | 19,145 |
| 2年 2月  | 21,066 |
| 2年 3月  | 20,459 |
| 2年 4月  | 19,164 |
| 2年 5月  | 16,954 |
| 2年 6月  | 18,402 |
| 2年 7月  | 17,382 |
| 2年 8月  | 12,208 |
| 2年 9月  | 13,612 |
| 2年 10月 | 15,859 |
| 2年 11月 | 15,282 |
| 2年 12月 | 14,852 |
| 3年 1月  | 15,143 |

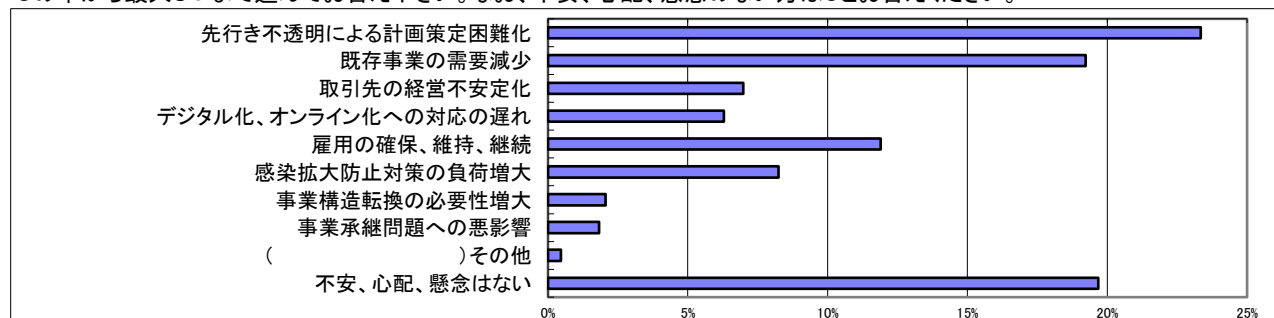
資料:石川県企画開発

# 【新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について】特別調査

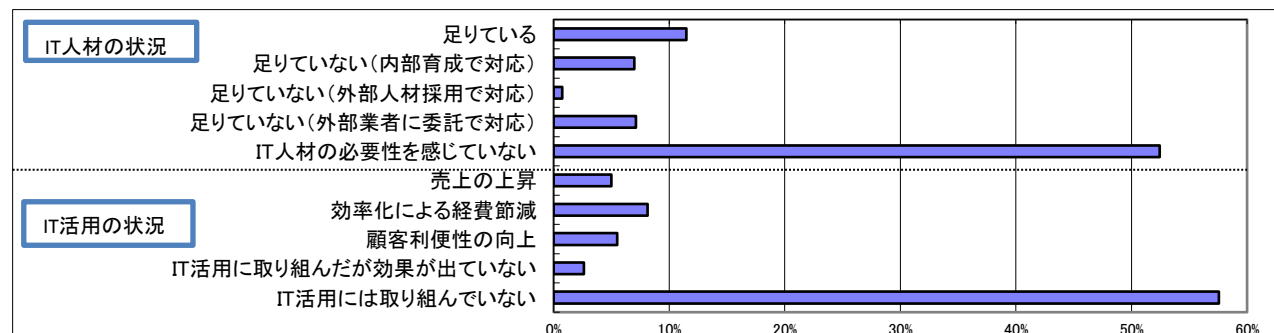
問1. 貴社における今期(1～3月)の売上は、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1～3月と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。



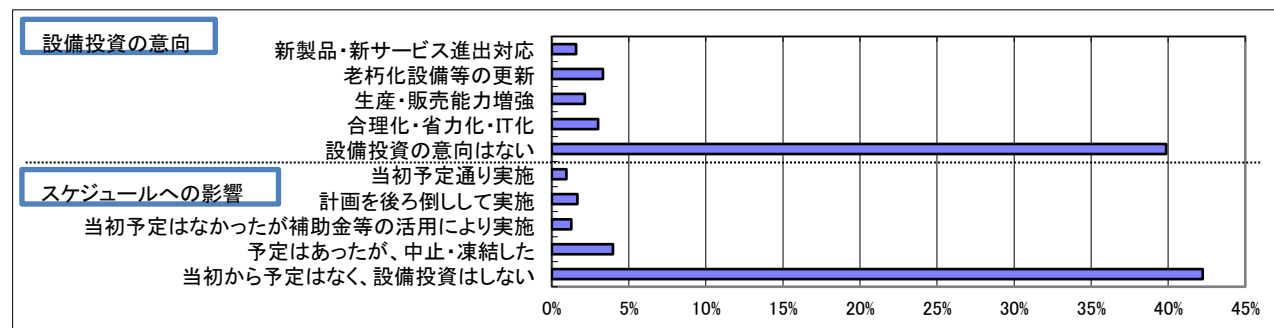
問2. 経済社会全体が新状態(ニューノーマル)へ移行していくなかで、貴社では、事業継続上の不安、心配、懸念はありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答え下さい。なお、不安、心配、懸念のない方は0とお答えください。



問3. 新状態(ニューノーマル)に向けて、IT人材の重要性が高まる状況にあります。貴社のIT人材はどのような状況ですか。また、貴社でのIT活用はどのような効果を挙げていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1～5、6～0の中から1つずつ選んでお答えください。



問4. 貴社では、新状態(ニューノーマル)に向けて、どのような設備投資の意向がありますか。また、足下のコロナ禍は設備投資のスケジュールに影響を及ぼしていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1～5、6～0の中から1つずつ選んでお答えください。



問5. 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。該当するものを以下の1～9より最大3つまでお答えください。なお、特になという方は0を選択下さい。

